

# さくら教室だより

カラー版は九小のHPで公開しています。



令和7年2月12日  
東久留米市立第九小学校  
校長 山本 真美枝  
特別支援教室 担任



## 寒さが厳しくなってきました



朝、外を見ると霜が降りていることがあります。寒さも厳しくなってきました。また、空気も乾燥し、溶連菌や風邪なども流行しています。手洗い・うがいを習慣化していくためにも、ハンカチ・ティッシュを忘れずに持たせてください。



### ○2月・3月の大まかな予定

2月13日(火)：3学期個人面談 始  
3月13日(水)：3学期個人面談 終  
3月12日(水)：指導終了

### ○今回の面談について

※以下にある指導計画は架空の児童のものです。

今回の面談では、【**連携型個別指導計画**】の後期の評価について話し合います。

限られた時間の中で、質問などがございましたら、事前にまとめてきていただくと、面談がスムーズに進むと存じます。

来年度において、何か引継ぎしておきたいことがございましたら、面談の際にお伝えください。

お子様によっては、**退室のご相談**をすることもございます。よろしく願いいたします。



東久留米市連携型個別指導計画 No.2		様式10	
作成日：令和5年10月31日			
ふりがな	ひがしくるめ たろう	性別	
姓名字	東久留米 太郎	学年・組	
在籍学校名	東久留米市立第九小学校	在籍学級担任名	
		特別支援教室担任名	
<b>適宜するとの具体的な児童像</b>			
(1) 相手の気持ちを考慮して、自分の行動をコントロールすることができる。			
(2) 集団に合わせて、気持ちを切り替えて考えようとする行動ができる。			
<b>在籍学級での短期指導目標と手立て及び評価</b>		<b>短期指導目標の達成状況についての評価</b>	
短期指導目標を達成するための取組期間 (令和5年4月～令和5年10月)		(評価日：令和5年10月31日)	
短期指導目標	◎○△	(1) 授業中に嫌なことがあっても、我慢することができるようになってきました。また、周囲の状況をよく考えながら適切な言葉使いで話すことができました。	
(1) 相手が不機嫌になる言葉を使わない。	○	(2) 担任の指示を聞き、やっていることを止めることができるようになってきました。たまに切り替えが上手くいかず、注意を受けることがあります。引き続き指導していきます。	
(2) 一言指示で行動できる。	△		
手立て			
(1) 不適切な行動が見られたときは、その場ですぐに指導する。			
(2) 口頭指示だけでなく、視覚支援を行いながら指示を出し、全体のあと、個別にも声掛けをする。			
<b>特別支援教室での短期指導目標と手立て及び評価</b>		<b>短期指導目標の達成状況についての評価</b>	
短期指導目標を達成するための取組期間 (令和5年4月～令和5年10月)		(評価日：令和5年10月31日)	
短期指導目標	◎○△	(1) 友達と適切な距離感を維持しながら協力することができる。	
(1) 友達と適切な距離感を維持しながら協力することができる。	○	(2) 嫌なことがあっても我慢することができ、必要以上にギョウテンクを行うことがないので、今後は物理的距離感を保つことも指導していきます。	
(2) 嫌なことがあるときは、自分なりの手段で気持ちを切り替えることができる。	○	(2) 嫌なことがあっても我慢することができ、自分から廊下などに出てクールダウンを行うことができるようになりました。クールダウンの時間を短くできるように、引き続き支援します。	
手立て			
(1) SSTを通じて、相手と自分では嫌だと感じるものが異なることを理解させていく。			
(2) 怒りなどの落ち度なく感じる感情を視覚的に見える化しながら、アンダーメソッドを教える。			
<b>作成時の確認欄</b>			
校長	在籍担任	特別支援担任	保護者
<b>評価時の確認欄</b>			
校長	在籍担任	特別支援担任	保護者

# 【さくら教室のちょこっとコラム】



## ○引継ぎは大切

4月になると、児童を取り巻く環境がいろいろと変わります。進級・クラス替え・担任交代・友達関係など、新しいスタートには環境の変化がつきものです。お子様についての引継ぎをしっかりと行い、長期的な支援を行う上で、文部科学省が「**個別の教育支援計画**」を作成することを定めています。これは、東京都では「**学校生活支援シート**」という名称です。担任が保護者と相談しながら作成するものとなっています。

学校生活支援シート  
(個別の教育支援計画) P1

平成 年度作成

このシートは、お子さんの学校生活を充実したものにするため、ご家庭と学校、関係する様々な立場の人が、お子さんを心づけるように支えていく役割を担い、記録していくものです。  
お子さんが、充実した豊かな学校生活を送ることができるよう、学校での学習や家庭での生活について、一緒に考えていきましょう。

フリガナ	性別	学年・組
氏名		
学校	校長名	
両者	担任名	

1 学校生活への期待や成長への願い (ご本人が学校生活したい、ご本人が(大人)に書いてほしい、など)

本人から

保護者から

2 現在のお子さんの様子 (得意なこと・頑張っていること、不安なことなど)

3 支援の目標

学校の指導・支援	家庭の支援

**【作成の目的】**

学校生活支援シートの作成目的は、「障害のある児童生徒の一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うこと(文部科学省 HP より抜粋)」となっています。

**【活用方法】**

例えば、中学校へ進学する、転校するなどといった学校が変わるときに、このシートにより**新しい進学先の学校への引継ぎをスムーズに行うことができます。**

ただ、このシートは個人情報がかかれていたため、保護者の方の許可なく学校間で勝手に送ったりすることは**ありません。**活用をご希望される際は、各校の特別支援コーディネーターなどにご相談ください。

※引継ぎ方法の具体例は東京都教育委員会の HP にも掲載されています。

P2

作成・更新日: 0 平成 年度作成

4 支援機関の支援

在籍校	年度	年	組	担任名	連絡先
	年度	年	組	担任名	連絡先
	年度	年	組	担任名	連絡先
支援機関:	支援内容:	担当者:	連絡先:		
支援機関:	支援内容:	担当者:	連絡先:		
支援機関:	支援内容:	担当者:	連絡先:		
支援機関:	支援内容:	担当者:	連絡先:		
支援機関:	支援内容:	担当者:	連絡先:		
支援機関:	支援内容:	担当者:	連絡先:		

5 支援会議の記録

日時	参加者	協議内容・引継事項等
平成 年 月 日		
日時	参加者	協議内容・引継事項等
平成 年 月 日		
日時	参加者	協議内容・引継事項等
平成 年 月 日		
日時	参加者	協議内容・引継事項等
平成 年 月 日		

6 成長の様子

7 来年度への引継ぎ

以上の内容について了解し確認しました。  
平成 年 月 日 保護者氏名 \_\_\_\_\_

学校生活支援シートの大まかな作成スケジュール

1 学期：学級面談などを活用し、**保護者の意見を聞きながら作成**→保護者に確認

3 学期：児童の「**児童の成長の様子**」、「**来年度の引継ぎ**」を記入し、**最終的なサインを保護者からもらう**  
⇒次年度の担任に引き継ぎます

**【参考 HP】**

文部科学省  東京都教育委員会 